



水道産業新聞社

大阪: 〒530-0027 大阪市北区堂山町1-5
電話(06)6312-3871
FAX(06)6312-3874
東京: 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-10
電話(03)5251-0303
FAX(03)5251-3802

水道直結型自販機が好評

阪大生協 環境負荷の大幅低減へ

大阪大学生協同組合はこのほど、吹田キャンパスの工学部校舎前に、浄水・冷却した水道水の自動販売機を1台設置した。容器にはリユース可能な専用の魔法瓶を使用し、お茶やジュース等の粉末は別売り。従来の飲料自販機システムと比較し、環境負荷を大幅に低減する社会実験として、今後様々な角度から効果を検証する。

当時、関係企業に事業参加を呼びかけたが集まらず、計画を中断していた。

しかし近年、地球温暖化や石油資源価格の高騰などを背景に、環境に対する市民意識が高まるなか、状況は大きく変化。2年前から企業4社と共同で、水道インフラを活用した新しい飲料自販機システムの開発に取り組んできた。

同自販機は水道水を原水に、水の味に影響を与える8項目の成分量について名水100選と比較するなど、水

質の分析調査も実施した。

5月19日には学内の学生ら200人のモニターを募り、360ml入りの専用ボトルを無料配布。冷水は20円、緑茶など9種類の粉末は30〜105円の3価格で販売するとともに、アンケート調査を行った。モニターの反応は概ね良好で「環境に優しい」「魅力的な価格」「美味しい」などの感想が多く寄せられた。

また、今後は大阪大学内の研究機関とも連携し、環境負荷の低減効果の測定やLCA評価、利用者の環境保全に対する意識変化など、多様なテーマで追跡調査を行う予定としている。



水道水を原水に



専用ボトルと別売りの粉末